

令和3年 一級建築士学科試験の総評

昨日、一級建築士学科試験を受験された皆様、本当にお疲れ様でした。
なんと言っても今年の特徴は、計画が今までにないほど難しかった点です。
計画が11点未満となり、足切りの心配をされている方も多いと思いますが、
計画の科目基準点は引き下げられる可能性が高いと思いますので、希望を持って良いと思います。

(1) TAC合格推定点

さっそくですが、TACの合格推定点は、次のとおりです。
全体の難易度は、やや難しかったと考えます。

■科目基準点

計画10点、環境・設備11点、法規16点、構造16点、施工13点

■総得点

87点

・計画の科目基準点は、9点になる可能性もあると思います。
・自己採点等による誤差を考慮し、86点以上の方は速やかに設計製図の受験対策を進めるべきと考えます。

なお、この推定点はTACが独自に算出したものです。実際の合格点と異なる場合がありますことをあらかじめご了承ください。試験実施機関による正式な合格発表は9月7日(火)が予定されています。

・TAC設計製図本科生における学科合格発表後の特別返金制度については、[こちら](#)をご覧ください。

(2) 講評

科目ごとの難易度は次のとおりです。

- ・計画：非常に難しい
- ・環境・設備：易しい
- ・法規：易しい
- ・構造：やや難しい
- ・施工：例年並み(=難しい)

全体：やや難しい

以下、学科試験の科目ごとの特徴です。

■ 学科Ⅰ：計画

今年の計画の出題を、やや強引に、①用語、②実例・建築史・著作、③計画理論の3つに分類すると次のようになります。

No.	分類	No.	分類	No.	分類	No.	分類
1	用語	6	実例	11	実例	16	理論
2	実例	7	理論	12	用語	17	実例
3	実例	8	理論	13	用語	18	理論
4	理論	9	理論	14	実例	19	理論
5	理論	10	用語	15	実例	20	用語

①用語が5問、②実例・建築史・著作が7問、③計画理論が8問になります。

そして、用語と実例等は、結局のところ、それを知っているか否かです。

それが12問も出題され、新規問題が多数出題されたことによって、今年の難易度が一気に難しくなっています。

逆に、集合住宅の片廊下型の特徴などの計画理論は、本当に出題が減っています。

なお、TAC生は、SDGs、エドワード・ホール、コンセッション方式などについて、教材や講義で扱っていたので、ぜひ得点して欲しかったところです。

■ 学科Ⅱ：環境・設備

環境・設備は易しい出題でした。

過去問を使った誤りの肢について、確信を持って「誤り」と答えられれば、新規問題や、過去問と表現を変えた問題に惑わされることなく得点できたはずです。

No.13の換気量の問題は、1人当たりの必要換気量が $30\text{ m}^3/\text{人}$ 程度であることから判断できる問題でした。

■ 学科Ⅲ：法規

法規は易しい出題だったと言えます。

今年も法改正部分からの出題が目立ちました。

No.14の無窓居室をテーマとした問題、No.24の建築士法に基づく帳簿、図書の保存をテーマとした問題、No.28肢2の建築物省エネ法の請負型規格住宅などです。

容積率、高さ制限については、近年は易しい問題が続いています。

法規では、例年どおり、時間配分について十分な対策が必要です。

■ 学科Ⅳ：構造

構造力学では、例年の出題に一捻り加えた問題が目立ちました。

文章問題は、過去問の表現を変えて、難解な表現をできるだけ少なくし、平易な表現で出題されている印象を受けます。

それによって過去問の理解度が顕著に表れる結果となったと思われます。

過去問が十分に理解できている場合には易しく感じる一方、理解が不十分な場合には変わった表現に惑わされて、難しく感じたのではないかと思います。

■ 学科Ⅴ：施工

暗記系科目である計画と施工では、新規問題が数多く出題されているのが近年の傾向です。

施工で特に今年数多く見られたのが、
3つの正しい肢が過去問、消去法で新規問題が誤りという問題です。
No.5、6、18、22、23などです。

このような問題は、過去問をいかに正確に理解していたかが顕著に表れます。
また、建設業法の改正で注目された、監理技術者補佐、特例監理技術者についても No.2 で
しっかり出題されました。
TAC生は、直前演習ゼミの問題が数多く出題されていまして、その効果を実感できた
のではないかと期待しています。

一級建築士学科試験の総評は以上です。

もう1点、令和2年からの試験制度の変更により、
学科試験に合格した後、5回の設計製図試験のうち、いずれか3回を選択できるようになり
ました。

設計製図試験は2か月半の短期決戦です。

自分自身が合格を信じて、初回講義からしっかり集中して取り組まなければ合格すること
が難しいと言えます。

学科試験の合格発表まで設計製図試験に集中する自信が持てないという方は、次年度の受
験を検討しても良いかもしれません。

さあ、合格見込みの方、次は設計製図試験です！

TACでは今週末（7/17・18・21）から設計製図1回が始まります！

課題発表前から学習できる構造、設備、法規の基礎知識と作図手順、作図実習を進めていき
ます。

必ず平行定規等を持参してください！

つかの間の休息をとった後、設計製図試験に向けて頑張りましょう！

皆様の好結果を祈念しています

TAC建築士講座

令和3年7月12日